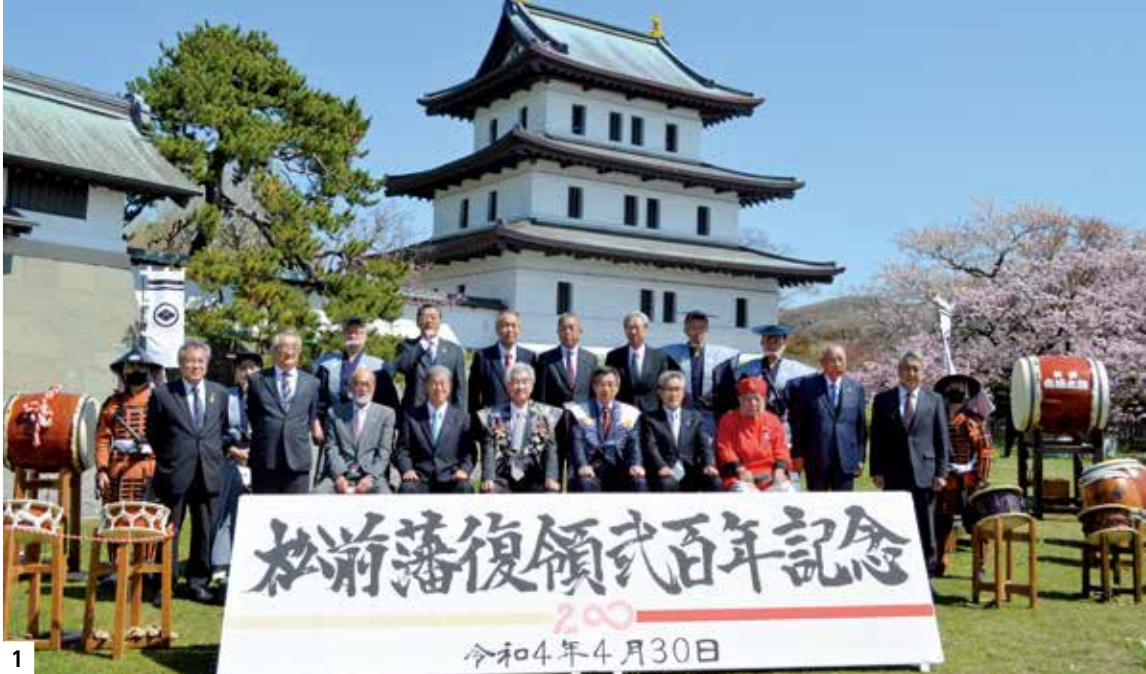




1. 満開の桜の下、親睦を深める松前町と伊達市の関係者 / 2. 松前藩屋敷を梁川に見立て、松前城まで歩く「参詣登城」が行われた / 3. ひろせ梁川太鼓の勇壮な音色が響き渡った / 4. 松前町は伝統の江良杵振舞や松前古城太鼓を披露

「松前と梁川、絆^{とこしえ}永久に」

4月30日④、松前藩復領200年記念式典が北海道松前町で行われ、須田市長らが出席しました。式典ではひろせ梁川太鼓などが演奏を披露し、復領200年の節目を祝いました。須田市長が松前町の石山英雄町長に伊達組子を贈り、松前町から地震の見舞金(300万円)が贈られました。松前藩は1807年に梁川に移封され、約14年間梁川で過ごしました。この縁で松前町と旧梁川町は1984年に姉妹都市となり、祭りなどさまざまな分野で交流を深めてきました。2011年には合併後の伊達市と姉妹都市となり、その絆はこれからも続いていきます。



市長コラム 第42回

「新型コロナウイルスワクチンの効果」

須田 博行

伊達市における新型コロナウイルスの感染状況は、オミクロン株に移行した今年1月以降に急拡大し、昨年1年間の感染者数が141例であったのに対し、今年に入ってから5カ月で1000例を超えており、特に若い世代への感染が急増しています。

感染者数に占める0歳～29歳までの割合は、昨年は33%であったのが、今年に入って53%となっており、20代以下が半数を超えています。感染拡大を抑えるためには、若い世代の感染を防止することが非常に重要です。

ところで皆さんは「オミクロン株は軽症だから…」などと考えていませんか。実際に感染した人によると「軽症と診断されたけど、これまでに経験したことのない苦しさと辛さだった」との話が伝わってきます。そして、倦怠感や息切れなどの後遺症についても心配なデータがあります。国立国際医療研究センターの調査では、軽

症であっても26%の人が後遺症に悩まされているとのことです。新型コロナウイルスの根絶は難しいと考えられる中、ウイルスへの免疫がない場合、どこかのタイミングでウイルスに感染してしまうことを想定してはいけません。

そこで免疫を高めるためにはワクチン接種が重要になります。ワクチンには、感染予防や重症化予防に加えて、後遺症を5割～8割減らす効果も報告されています。ワクチンを接種すれば、多かれ少なかれ副反応はあります。若い人の方が高齢者より頻度が高い傾向にあるようですが、ほとんどが2～3日以内に回復しています。

感染した場合の辛い症状と後遺症を考えた場合、一時的に出る副反応との比較で「接種しない」と決めるのはリスクが大きいのと思います。まだ接種をしていない人は、もう一度ワクチンの有効性を勘案して早めの接種をお願いします。

編集・発行 伊達市総務部総務課 令和4年5月26日発行 NO.196
〒960-0092 青森県伊達市原町字舟橋180番地 TEL024-575-1113 FAX024-575-2570 印刷 坂本 株式会社 CIA